

## 第1回県北部海拔ゼロメートル地帯対策協議会協議概要

### ○開催日時及び場所

日時：平成26年4月30日（水）13:30～15:30

場所：三重県勤労者福祉会館 2階 第2会議室

### ○議事

#### 1 開会あいさつ（三重県防災対策部長）

- ・三重県では3月18日に被害想定調査結果を公表するとともに、三重県新地震・津波対策行動計画を示した。
- ・三重県新地震・津波対策行動計画の中では、選択・集中テーマ「避難をあきらめないための対策を進める」において、海拔ゼロメートル地帯対策を掲げ対策を講じることとしている。
- ・そのような中、3月28日に国により南海トラフ地震対策特措法の特別強化地域の指定があったが、三重県の沿岸市町では桑名市、木曾岬町だけが指定から漏れたことから、知事が県北部の海拔ゼロメートル地帯対策を協議するための機関を設置すると述べたことを受け、本日の協議会開催となった。
- ・まずは、県関係部局の取組、市町の取組の情報共有をし、その後、今後の進め方を議論していきたいと考えているので、よろしく願いしたい。

#### 2 協議会の設置について

「県北部海拔ゼロメートル地帯対策協議会設置要綱（案）」の内容説明後、要綱に基づく協議会の設置について審議を行い、原案どおり承認された。

#### 3 協議会の進め方等について

##### （1） 海拔ゼロメートル地帯対策の現状等について

###### <三重県防災対策部>

- ・「三重県新地震・津波対策行動計画」に掲げた海拔ゼロメートル地帯等における広域避難体制の検討等の行動項目、現行の「地域減災力強化推進補助金」のスキーム、「県と市町における災害時広域支援体制構築連携会議」における広域避難等の検討状況について説明。

###### <三重県農林水産部>

- ・大雨時の浸水被害を防ぐための排水機場整備による湛水防除事業等の取組について説明。

###### <三重県県土整備部>

- ・国の直轄河川改修事業や県の海岸整備事業による木曾三川下流域の河川・海岸堤防の耐震対策（液状化対策）等の取組について説明。

###### <三重県桑名防災総合事務所>

- ・北勢2市2町による防災担当課長会議や担当者会議等の開催や避難のあり方の検討などの取組について説明。

###### <桑名市>

- ・防災コミュニティーセンターや運動防災公園、小・中学校への自動開錠防災ボックスや避難用非常階段、屋上フェンスの設置など施設整備や広域避難訓練の実

施、津波避難ビルの指定など、ハード、ソフト両面での対策と、堤防の安全性の確保、避難場所の確保、広域避難施設の整備、市内全域へ情報伝達手段の確保、排水機能の充実等の課題について説明。

<木曽岬町>

- ・防災拠点施設や小・中学校校舎外付け階段の設置、緊急避難場所等の整備や津波避難ビル等緊急避難場所の指定、防災ボックス（地震自動解錠鍵ボックス）の設置、津波ハザードマップ・標高マップの全戸配布等の対策の現状について説明。

(2) 協議会での検討方針について

- ・ハード整備はソフト対策の前提条件となるので共有を図る必要があるが、この協議会での議論となるのは避難対策を中心としたソフト対策と考える。
- ・海拔ゼロメートル地帯の対策は、元来、高潮対策を念頭に進められてきた。決定的に異なる部分はあるが、高潮対策を地震・津波対策につなげていくという視点が必要。
- ・今回の特別強化地域の指定から外れたことをバネにして、住民の危機意識を高める取組を進めていくこととする。

(3) 協議会の今後の進め方について

- ・今後は、協議会の下部組織となる検討会議で実務的な議論を進めていく。
- ・県が議論のたたき台とするためのシートを作成し、5月下旬の第1回検討会議で方針と具体的な課題の抽出と整理を行った上で具体的な検討に入りたい。
- ・秋の国への政策提言項目に何らかの反映ができるよう、通過点ではあるものの、10月末を目処に一定の整理をしたい。

以上